



## ～夏に発見したこと～

## 第29回市民協議会

日時：平成16年8月22日(日) 午前9時30分～

次第：

- 1 本日の進め方
- 2 広報ながれやま都市マステ集号について
- 3 質疑応答
- 4 地域別ワークショップ

配付資料：

本日の進め方 第27号まちづくり協働通信 まち  
ネット流山創刊号 広報特集号 その他各地域の  
資料 など

夏に発見したこと --北部地域 石原 純--

本格的な夏に入る前の6月頃、インラインスケートを購入しました。インラインスケートとは、ブーツの裏にタイヤが4個ないし5個直線に付いていて、アイスホッケーやスキーの夏季練習用に使われるものです。よく「ローラブレード」と言われますがこれは商品名です。ブームは去りましたが、まだ根強い人気があります。

やり始めた目的は、運動不足解消とダイエットのためでした。ランニングと同様に心肺機能を高め、技術を磨きながら足腰を鍛えることができることに魅力を感じました。

そしてもう一つの目的として新たな通勤手段に使おうという考えがありました。私の家から勤め先の流山工業団地までは片道約3.5キロ、そのうちの約7割が利根運河のサイクリングロードです。サイクリングロードに出るまでの一般道さえ注意すれば十分可能です。ちなみに現在の通勤手段はマウンテンバイクでこれも十分快適なのですが、通勤で体を鍛えるという面では物足りなさを感じていました。



《北部地域：ワークショップの風景》

実は私は、スケートボードやローラースケートでUCLAに通うカリフォルニアの大学生の開放的なライフスタイルに昔から憧れていました。流山とカリフォルニアでは大分異なりますが、このような発想が実現できる自分の置かれている環境に感謝しました。

必要最低限の練習をした後、実際に通勤してみました。まず、最初に感じたことは道路にこのような曖昧な乗り物を受け入れるスペースがないことでした。歩道では、狭すぎますし、車道脇もスケーティングをするため自転車よりも幅を取ってしまいます。後ろから追い抜かす車は、朝っぱらから邪魔だと言わんばかりに避けたあと急加速して抜き去っていきます。

また、必要以上にアスファルトをほじくり返した後にできる段差や、マンホールの蓋、そして水勾配以外の細かい起伏がやたら多いことに気が付きました。サイクリングロードに出れば少しは走り易いかと思ったらこんどは車が来ない代わりにアスファルトの粒が粗くタイヤに伝わる振動が大きすぎて足の裏がしびれるほどでした。普段使用している車や自転車では、さほど感じなかったことですが、道路はずいぶん凸凹しているものだというのを足の裏で実感しました。そんなわけでこのインラインスケート通勤は、思い描いていたイメージとは、ほど遠いものになってしまい2回目で挫折しました。

自動車中心のまちづくりというのは、時代の流れの中で必要不可欠なことではありますが、歩行者や自転車、またはインラインスケートのような中間に位置するものが、のびのびと行き交うまちこそが活気あるおしゃれなまちだとこの夏改めて思いました。

電車が街にやってきた 中部地域 --又多 洋--

国鉄常磐線開通 M29. (1896) (利根運河 開通 6年目) 流山-松戸-金町 流山-三郷-千住 --当時の計画案と報道にあるが、国家の上位計画が小さな町の要望で、軍国主義の時代 本当に千代田村に迂回したか疑問。千代田線開通 S46.4 複々線 S55.10 中距離電車柏駅停車

国鉄武蔵野線開通 S48.4.1 (S31年の鉄道審議会から17年目) 三郷 新松戸間 4kmの中に南流山駅を造ることは大変な努力を要した。流山市民が三郷駅

利用を考慮し江戸川土手に設置、S48.3.30 南流山駅の開駅式

東武野田線 M44.5. 県営軽便鉄道 柏野田開通  
野田醤油鉄道とも言われ貨物輸送で収益増。T11.  
野田醤油醸造組合は北総鉄道株式会社を設立、T12.  
県営鉄道の払い下げに成功。北総鉄道株式会社は、  
T15. 大宮までの延長工事を開始、S5.10.運転開始  
S18. 政府の企業合併方針で 東武鉄道と合併  
流鉄 T5.3.開通 流山軽便鉄道株式会社設立 T 元.  
醸造業秋元平八ほか 38 名の発起人 流山馬橋間 5.7  
km

## 第 2 常磐線 常磐新線 そしていま つくばエクスプレスの生い立ちと関連経過

<昭和 5 3 年> 茨城県で県南西地域交通体系調査委員会が発足 (第 2 常磐線構想) 委員長 八十島義之助 東大教授 常磐線の混雑緩和対策として第 2 常磐線、やがて常磐新線として誘致運動が盛んになった。流山でも誘致活動が起こり市長や議員はコースをヘリコプターで視察をした。

<昭和 5 8 年> 快速 274% 千代田線 247% 運輸政策審議会で議題化 県も要望ルートの検討

9.7 流山市長 野田線常磐線の通勤地獄を体験 同行助役 秘書室長 企画部長総勢 12 名 県 企画部長 同参事 交通課長 同主査の 4 名

9.7 千葉県 16 ルートから早期実現性を重点に基本路線は 6 ルートに縮小 を推奨 我孫子-豊四季-南流山-北千住-秋葉原 我孫子-豊四季-新松戸-金町-新小岩-新橋 我孫子-豊四季-新松戸-金町-新小岩-秋葉原

茨城県では茨城ルートを作成。茨城県は最初からつくば駅の位置を決定済み。両県で最終案をすり合わせず、建設省や国鉄に建設しやすいルートを選んでもらう事とした。新幹線乗り入れ計画があったようだ。

12 月 県が委託した民間コンサルによる新線ルートの調査結果を沿線市町村に説明

<昭和 5 9 年> 11 月 流山 柏 我孫子 沼南の商工会が早期着工 署名運動 常磐新線をわがまちへ 市内全域で活発な誘致署名運動 主催 流山商工会 137 自治会 初日 16480 名 最終的に 81% 97156 名 (全市民 12 万人)

<昭和 6 0 年> 1 月 常磐自動車道開通

3.17 つくば科学博開催

7.11 運輸政策審議会 (会長 稲山嘉寛経団連会長) で基本答申された。常磐新線は、都市交通対策上、重大な課題と位置づけられた (東京駅 秋葉原 浅草 北千住 八潮市南部 三郷市中央部 流山市南部 柏市北部 守谷町南部 筑波研究学園都市)

国鉄が運行するので国鉄が出資すべき 宅地開発で収益をあげるデベロッパーが投資すべき。固定資

産税の増収となる市町村が負担、国鉄は赤字続きで値上げばかり など激論

## バブルの絶頂期 平成 2 年にはバブルが破綻する。

7.12 市長 運輸省へお礼参り

8.1 市長 三郷市長八潮市長と山下運輸大臣 衆議院運輸委員会にお礼参り

8.24 ヘリコプター航空視察 県知事 運輸省交通課長 柏鈴木市長 国鉄幹部 記者団 東武鉄道幹部 東京駅守谷 38.3 km を 4 往復 主催 上空視察会 会長池田謙吉と流山市

8.27 交通問題懇談会 流山市役所 八潮 三郷 流山 東京四区協議会代表幹部

<昭和 6 2 年> 4.1 国鉄民営化 JR 発足 JR 東日本 常磐新線工事の資金出資拒否を表明

9.25 常磐新線整備検討委員会設立 構成 (運輸大臣 官房審議官 1 都 3 県副知事 JR 東日本副社長)

<平成元年> 6.28 大都市における宅地開発鉄道一体化推進措置法公布 (同年 9 月施行) 特定地域 柏野田 流山 松戸 重点区域 区画整理施行区域

<平成 2 年> 11.15 1 都 3 県副知事会議 (常磐新線整備検討委員会) で第 3 セクターの設立合意 第 1 種鉄道運行事業免許 運行は JR 東日本に委託 施工日本鉄道建設公団 建設区間 秋葉原 筑波研究学園都市 (第一期工事) 建設費 8000 億円 開業目標 H12 (2000 年) 自治体の第 3 セクターへの出資割合 東京:埼玉:千葉:茨城 = 4:1:2:3 都県区市町村 16 民間企業体 208 団体

<平成 3 年> 3.15 第 3 セクター 首都圏新都市鉄道株式会社 発足沿線自治体による設立

9.30 整備基本計画を国 (運輸、建設、自治省) に申請 県内 5 駅 宅鉄一体化法適用 1 号 70 万人分の住宅建設 20 兆円の経済効果

10.23 常磐新線と宅地開発の一体型整備の基本方針を運輸、建設、自治大臣が承認

<平成 4 年> 1.10 首都圏新都市鉄道株式会社が第一種鉄道事業免許の取得

9 月 常磐新線プロジェクト研究会設立 民間出資について検討するとともに常磐新線の事業採算性、沿線開発等に関する民間による調査活動を実施

<平成 5 年> 2 月 流山市が用地先行取得の開始 集約換地用 (線路駅 予定部分に充当) ○ ~ ○ / 坪円

<平成 6 年> 10.28 秋葉原で新線起工式

<平成 8 年> 2 月 茨城県常磐新線未来へのアプローチ PR パンフ公表 建設費 8000 億 開業時の輸送需要 47.4 万人/日 10 両編成 130Km 45 分 157 往復/日 ラッシュ時 21 本/h 2 月には基本計画の変更申請を行い 3 月に島名駅承認予定

3 月 島名駅を追加承認 2 駅となる。(当初から計画されていたが農地の仮登記が多く激怒)

12月 **完成予定を5年間延長** 平成17年と発表(見直しと発表) 工事費1兆500億

<平成10年> 1月 常磐新線、沿線整備の都市計画決定告示区画整理4地域 657ha 流山市域 35km<sup>2</sup>の1/5 市内8km 11工区

5.15 流山地区安全祈願祭 南流山

<平成11年>8月 オオタカの森を保存決定(流山市三輪野山 市野谷)

<平成12年> 1月 運輸政策審議会に東京 秋葉原間 常磐新線の延長検討を要請

4月 東葛飾鉄道建設事務所設置 流山市野々下

7月 南流山、運動公園の施行認可、これで58.3km全線の工事認可となる

7.15 金融機関出資の見送り(採算性に疑問)協議会脱退銀行も誕生

11.18 建築士会の新線工事見学会 下水管の迂回シールドなど見学

<平成13年> -----

1月 沿線地域の愛称を「みらい平 いちさと」に決定

2月 **つくばエクスプレスと路線名が決定**

7.6 堂本知事 桜田代議士 南流山 運動公園 市野谷の森を視察

10月 つくばエクスプレスのシンボルマーク決定

11.15 流山議会広報から --現時点で流山市は95億5500万円出資済み/ 新線用地費 19億2800万 野田線乗換駅調査費 800万円 支出済 総支出計画費(関連公共施設整備費を含む)580億の予定/ 区画整理負担金 131億 下水道整備費 159億 義務教育費 171億の予定 財源 国庫補助金 123億 施工者負担金 17億 市負担残金 440億と答弁

H13.10 シンボルマーク・シンボルカラーを決定

H13.12 車両基地で線路の敷設式

<平成14年> -----

3.12 国土交通省 柏流山の工事で土地収用法の事業認定

8月 車両デザイン発表 江戸川橋梁の鉄骨が千葉県埼玉県につながった。設計速度 130km つくば守谷 交流 守谷秋葉原 交直流 6両編成 ワンマン可動ホーム柵 ネイビーブルー ユニバーサルデザイン MIR 資料から 開通後30年で26兆円の経済波及効果 現在日本の計画プロジェクトの最大規模

10.4 南流山駅地下構内 直径10.2mシールドマシンの発進式

12.4 流山電鉄との協議が成立 駒木地区の用地買収のみ未決

12.5 建築士会の第2回 工事現場見学会(鉄道建設公団 東葛飾工事事務所中島副所長の協力) 南流山地下駅舎(西松)南流山川崎重工シールド(清水)江戸川橋梁(横河高田片山)運動公園駅(鉄建三菱)



《中部地域：つくばエクスプレス工事の様子(江戸川)》

流山中央(新市街地大林)のコース 参加者26名 現在の見学者は3000人程度と公団中島さんの説明

12月 流山市長 公団 MIR に対し流山中央 南流山に快速停車を要望

<平成15年> -----

1.15 東京駅延伸を検討 現在工事区間は2005.9~10月開業可能と掲載

2.2 H14.12.30 現在着手率 東京 87%、埼玉 90% 千葉 76%、茨城 86% 2月1日現在の全線土木工事着手率 84%、一般着手率 100% 3月全駅名公表予定

2.17 国道16号内回りの斜線切り替え 守谷街道仮設桁掛け

2.18 シールドマシンセグメント 埼玉児玉から搬入

3.1 記念講演と市民見学会に参加 南流山は地下17m 講演会場 東洋学園大学 講師 工学院大学教授 倉田直道 「流山市とまちづくり」 見学コース：江戸川 運動公園駅 中央駅 南流山地下駅 参加人数 200名 申し込み 800名 鉄道建設公団 中島副所長ほか 大勢職員の設営受け入れ準備 苦労が見えた。

3.25 JR土浦に電車が到着(甲種輸送)NHK TV 夜1:00 トレーラーで車両基地へ

4.10 小山小学校付近で400トンクレーン2台の桁掛け

4月 南流山シールド夜間工事 苦情で中止(流鉄直前で) 昼夜ともガードマンによる地盤沈下監視、1日2

回の地盤沈下測定 土曜日曜含み雨天 最近公団の視察が多くなってきた。土木工事は11月末までに終了と通告が来ている。」

- 4.17 秋葉原 新浅草シールド 新浅草に到着 建屋の解体中 新浅草 南千住シールドは日比谷線合流地点付近 あと一ヶ月程度とJV
- 4.20 南流山 川重シールド 到着 23日 鱈ヶ崎建屋解体中 (前田建設)
- 4.21 第1期走行試験 総合基地 小貝川橋梁間 下り 1.5 km
- 4.29 守谷車両基地で電車の公開 1編成 6両 ネイビーブルー 全駅ホームドア TX1000系 直流 (秋葉原守谷) TX2000 交直流 (全線) 開業時には直流 14編成 交直流 16編成 合計 30編成 180両
- 5.16 南流山シールド建家の解体開始 (清水建設)
- 5.20 寿トンネル貫通 東京丸ビルまで 延伸決定か? 南流山シールド建家のほとんど解体 (清水建設)
- 6.9 鉄建三菱森 JV 運動公園の最終鉄筋籠 直径 1200 投入 鉄筋籠の全合計 319本 OM技研 (新潟 支店前橋)
- 6.20 鱈ヶ崎 塚の越からシールドマシンの部品を500トン クレーンで排出
- 7.2 県道柏流山線 PC 梁掛け夜間工事 オリエンタル 青木重起 推定ギャラリー 50人程度
- 7.8 南流山西 地下の立ち上がり、コンクリート打ち込み 1500t (生コン車累計 300台) 作業員日中 500人 夜間 400人と西松JV
- 7.29 駅変更予定通知きた。運動公園、流山中央駅の名称を再考予定、お気に入りだったのに!
- 8.1 南流山のゴライヤスクレーン解体
- 8.2 駅変更検討委員会開催 官僚的だ 検討委員は市長のお気に入りでした。簡単な挨拶をして、市長は多忙との説明でどこかに行った。回りはあぜん! 石井課長、宇佐美都市計画部長が市長説明の補足 気の毒に困惑中だった。
- 8.5 運動公園駅舎の建方開始
- 8.8 流山中央駅 安全祈願祭



《中部地域：つくばエクスプレス工事の様子(市野谷)》

- 8.26 運動公園駅 安全祈願祭
- 8.28 市野谷 3.1.1号線 橋梁のナマコン打設 スパン 50m 大林 サンケイJV
- 8.29 鱈ヶ崎変電所 コンクリート打設 前田JV
- 9.1 駅名の再市案公表 流山おおたかの森 流山セントラルパーク (市議会に変更質問)
- 9.4~8 市野谷の桁かけ 青木重起 トレーラー7台 100~120t PC 橋梁
- 9.18 思井の切り下げ道路開通 (オリエンタル)ジャッキダウンによる桁掛け工事
- 9.26 運動公園駅 送電用ポストの設置 高さ7.4m~8.0m 300kg 南流山駅は設計変更で出入り口を追加 3箇所となる。
- 10.1 南流山工区を清水JVから西松JVに移管
- 10.2 浅草駅は出入り口が2箇所、2箇所の駐輪場とJV。
- 10.7 南流山シールド投入口から枕木を入れた。
- 10.8 駅名発表 -- 秋葉原、新御徒町、浅草、南千住、北千住、青井、六町、八潮、三郷中央、南流山、流山セントラルパーク、流山おおたかの森 柏の葉キャンパス、柏たなか、守谷、みらい平、みどりの、万博記念公園、研究学園、つくば 将来は160km運行か? 北千住 ガーダー工法 鹿島の子会社が工事 設営機械 3億円以上 常磐線終電 (12:40)から始発 (4:00)までの短時間ガーダー作業
- 10.17 県道松戸野田線の千葉北水道企業団付近に遮音壁運搬車 3台 市野谷に投入 オリエンタルh = 2.570m 栃木県真岡工業団地
- 10.17 千葉テレビ (躍動ちば) 20:00~20:30 つくばエクスプレス放送マナーフットライン
- 10.18 流山青年会議所 親子見学会 説明会開催 バス3台 150名
- 10.29 運動公園駅 鉄骨駅舎 2期工事始まる。
- 11.12 ほとんどの区域で電気ポスト完成
- 11.15 運動公園駅周辺の皆さん、工事中駅舎を見学 (鉄骨部分を除く) ホーム長 125m 電車 6両 120m 駅舎の鉄骨本体 460t
- 11.21 思井中 ジャッキダウン桁の1/2にコンクリート打設 (180? = 1/2)
- 12.10 思井中のジャッキダウン桁のコンクリート打ち 2/2 (180?)
- 12.12 流山市議会に質問 常総守谷駅には守谷市は負担しないが、おおたか駅 24億のうち流山市 14億 自由通路 10億のうち流山市 3億 3千万これらは税金や減歩のお金、54万円/住民 と質疑 流山宇佐美都市部長回答 常総守谷駅は既存駅 守谷市民は出資しない。おおたか駅は請願駅、広場に出て乗り換えを利用しやすいよう組替えで追加金が出た。出合い たり 乗り換え 行政の集積駅と考えている。都市軸

道路についても平成5年頃は3通りあった。 -- ルート3.4.5 高層ビルが出来て断念 市野谷の森三輪野山区画整理組合区域内 オオタカがいて断念 市野谷の森北 消防署 3.5.33 の拡幅計画 でルート決定 (H8.6)

12.23 南千住 隅田川のジャッキダウン 橋梁 :1000 t スパン :100m位 鉄骨なので駆体は軽い PC 桁 900 t スパン 30 数m 300 ジャッキ 4 台

12.26 運動公園駅のクレーンが解体され消えた。クローラークレーン80 t

<平成16年> -----

1.7-8 思井中ジャッキダウンの準備作業 夜間工事予定 思井中でジャッキダウンの準備夜間工事 PC 梁の打ち込み型枠受け鉄骨の撤去

1.10 中央駅の3階ホーム屋根鉄骨の組み立て開始

1.20 中央駅で2機のエスカレーターの搬入 姫路の東芝から1機は2分割で搬入 1億/機

【Xのホームページ】本年1月12日から17日にかけて、新型車両の搬入が行われています。また今後、毎月搬入され最終的には、平成17年1月(予定)まで28編成(6両×28編成=168両)搬入されます。搬入は、JR土浦駅(JR貨物敷地内)に到着した車両を、1両ずつ切り離し車体と台車を分離した上、深夜トレーラーで約30km離れた当社総合基地(茨城県谷和原村、守谷市)まで陸上輸送し、総合基地において、再び車体と台車を結合するものです。

1.23 ジャッキダウンの予行演習

1.24 ジャッキダウンの予行演習 昨日納得できなかったとオリエンタル田辺和夫JV所長。思井中ジャッキダウン夜間工事 通行止め 全員で50人程度

1.25 思井中ジャッキダウン終了

1.30 ジャッキダウン桁上で 鉄建三菱森 JV 本線土木構造物の完成式 中央駅の白パイプ柱梁 市原三井造船より搬入

3.15 オリエンタル鉄建三菱森 JV 工区より撤退

4.5 第6回 JR貨物 甲種輸送 2編成 12両 南流山 11:34

5.10 第7回 JR貨物 甲種輸送 2編成 12両 南流山 11:34

5.15 中央駅のガードマン談 ゴールデンウィーク前に日光街道の駐車スペース閉鎖。銭高エリアでダンプカー30~50台分の不法投棄をされた。なるほど

5.17 市民会議傍聴 工事概要大望 で当時をふりかえって 議会説明 路線工事は決定したが事業資金の確定しない中 バブルの絶頂期、S62.4.1 JR 民営化に伴い工事主体のかぶせあい 必要とする行政がすべき JRの工事だ 利益を生む民間会社工事がよい など主体決定で50回以上の交渉会議

5.29 レール締結式 北千住駅 倉田参議院議長 野沢法務大臣 沿線自治体首長ほか 140名

6.14 おおたか駅 不法残土 警察実況見分 パトカー2台 黒バイ1台 ライトバン1台

6.15 おおたか駅 流山市議団見学

7.8 流山地区送電開始 15000V 第二期走行試験は、本年4月から7月までの4ヶ月間、守谷駅~みらい平~みどりの3駅間 約12Kmで実施いたしました。今回の二期走行試験では、直流電源と交流電源の車上切換え試験 列車の追突を防止するATC(自動列車制御装置)の安全性の確認 低速から最高速度130km/hの間で加速・ブレーキ性能の確認 台車の走行安定性の確認と乗り心地を中心とした試験 運転支援装置である、ATO(自動列車運転装置)の調整確認 駅の可動式ホーム柵と車両ドアとの連動閉鎖試験 故障列車を後続列車が連結して救援するという想定での訓練---上記の各種試験を計画通り実施することができました。

第三期とも言える、全線走行試験は、いよいよ本年11月より試験開始予定

8.1 TX 甲種輸送 22編成/30編成 土木工事 100% 軌道工事 100% 駅舎 84% 電気 96%

9.1 南流山駅地下駐輪場 利用開始

9.11 流山線路ウォーク 1000人以上の応募者

9.13 第1号車両 おおたか駅到着 13:00

9.14 第2号車両 思井中通過 10:45 帰り15:15 八潮まで

9.15 第3号車両 思井中通過 10: 帰り16:55 秋葉原まで

9.20 甲種輸送 南流山通過 11:10 23編成程度搬入済み

10.1 レールウォーク大会 参加者 約1000人

10.3 鉄道建設・運輸施設支援機構から路線図 到着

10.9 首都圏新都市鉄道から TXポスター 到着

10.10 TX鉄道フェスティバル 日比谷公園出展 開業詳細 来春公表とのこと



《中部地域：流山おおたかの森駅の工事の様子》

これからの 行政 -----

・TXのライフライン整備 :アクセス道路 バス路線の整備  
まちづくり 沿線開発 イメージ戦略

これからの TX(つくばエクスプレス) -----

走行試験 環境対策 駅舎車両整備 安全訓練  
運賃時刻表 利用者配慮 借用資金の返済計画 快  
速停車駅の公表

利用者の拡大 8両~10両化(現在6両) 運動公園の  
ホームは確か125m6両用

沿線開発 :みらい平 いちさと 推進

東京駅延伸 Q期工事 決定 2006年着工 2011年開通  
1000億と報道

流山市民 6本目の脚 地図や歴史に残る巨大プロジ  
ェクト 波及効果は20兆円と言われています。

次回 TX甲種車両輸送 武蔵野線南流山駅通過時  
間 平成16年11月15日 11時13分



《中部地域：流山セントラルパーク駅付近の様子》

ふりかえって

--東部地域 山本 武夫--

第1回流山まちづくり市民学習会に市役所職員の方  
から参加するように誘われ、自分の為の勉強だと軽く受  
け止めて出席しましたが、10回の学習会に参加して本  
当により知識を身に付けさせていただきました。

その後市民協議会東部地域部会に入り活動が始まっ  
たのですが、私は流山市内で生活したことがなく、知っ  
ているのは流山街道と東部野田線の各駅前周辺だけだ  
ったのです。そのため、休日になると地図を頼りに東部  
地域のまちあるきを始めました。

野田市民である私には考えられない市境問題や、国  
道6号と常磐線で分断されている向小金地区問題などを  
知り 驚きの連続でした。それでも東部部会員の皆様に  
引っ張っていただき、お荷物にならないようがんばってき  
ました。

まもなく行政と市民の協働素案も固まり、地元説明会も  
開催され、協議会以外の市民の反応がどう出てくるのか、  
いささか心配しています。

今後の課題は、部会員が提案したアクションプランの  
遂行であると考えています。協働まちづくりのアクション  
プランについては、流山都市計画マスタープランが法定  
化されればすぐ活動できるようにと私達が提案した計画  
であり、多くの市民の皆様の参加を期待しています。

次に、協働通信の誌面をお借りして私の楽しみ事を紹  
介させていただきます。

中国にあるユネスコ世界遺産を全部見ることが私の楽  
しみの一つです。

現在32箇所の文化遺産、自然遺産が指定されていま  
すが、約10年かかって24箇所の見学を終えました。

先日、中国山東省から帰ってきたばかりです。山東省  
には曲阜市に三孔と呼ばれる世界遺産の孔廟(孔子の  
墓所)、孔府(孔家の歴代の墓所)、孔林(孔子一番弟子  
顔回を祀ってある場所)と、泰安市に泰山という自然遺  
産があり、この2箇所を見学してきました。

泰山は標高1,524mの山ですが、山の中腹から奇岩や  
絶壁を縫って7千余段の石段が続いている中国五大山  
の一つです。私はこの急峻な石段は使わずに、ゴンドラ  
8人載りのロープウェイを利用し、山頂手前の南天門ま  
で約10分間の空中遊覧を楽しんできました。泰山は、紅  
葉にはちょっと時期が早かったので見られず残念でし  
た。

今回の旅行の最終日は、青島(チンタオ)ビールで有  
名な青島でした。

観光コースに青島ビール工場見学ビール飲み放題が  
あり、私としても期待していましたが、まさにその通りビ  
ールピッチャーが次々とテーブルに出てきました。中国青  
島生ビール(中国では生ビールは日系ビール会社しか  
販売していない)を初めて口にしたときは本当に美味し  
かったので、気がついたらピッチャー2杯も飲み干してい  
て、ちょっと気まずい思いをしてしまいました。

ビール工場の話は閑話休題、青島市の現況をお伝え  
いたします。

市の南海岸の近くに小魚山公園という小高い小公園  
があり、その地点から下に見える海水浴場(夏は1日に5  
万人も来る。ちなみに市の人口は700万人)が点在して  
いるのが見られます。目を山側に向けると、何とヨーロッ  
パの風影の家並が続いているではありませんか。よく聞  
くと、1800年代当時はドイツの租借地であったためにビ  
ール工場ができたとのこと。その後日清戦争があり、大  
日本麦酒会社を買収し、新中華人民共和国が成立した  
時に国営化されました、現在は完全民営化され、工場設  
備は日本のビール工場以上の能力ある機械が動いてい  
たので驚きました。

青島市内を散策すると、フランス系スーパーのカルフ  
ールが市内2店も営業していたのでびっくりしました。店  
内に入ると、標示が中国語であること以外は幕張で営業  
している状態と全く同じでした。

1800年代からの文化が未だに残っているからフランス系のスーパーが賑やかになっているのかなァと思いつつ、青島市を後にしました。



《東部地域：地元説明会でまち歩きを説明するメンバー》

夏に発見したこと(心配ごと) --南部地域 野口允昭-

市民協議会による「都市計画マスタープラン」策定の市民への開示として、8月24日の「広報ながれやま」都市計画特集号の全市民への配布で行なわれ、その後の公民館等での説明会を経て、後は行政内の手続きに移ることとなった。

このプランの策定が、学習会から見れば3年にわたる市民と行政との協働の作業により推進されたものであるが、過程の段階を一つ一つクリア昇りながら予定のスケジュールを消化してきたことになる。概ね予定のスケジュールをこなしてきた面では及第とも言えそうであるが、「流山は都市マス策定の最先端を行っている」との言葉は本当なのだろうか。

私には、他の市町村の動向を幾つしか見てない上、何をもって優れているかを判断する基準を持っていないので自信を持ってない。

この2年間での市民側が求めた項目の内、幾つかは「都市マスの目的外」「固有項目過ぎる」「共通性がない」「表現項目が違う」「重複表現となっている」「他行政の分野項目のため記載不可」等により除外されたものがあつた。この中でも策定方針と方向性が同一のものは「市民編」として別冊にまとめられることになっているが、やはり提案した市民から見れば不満として残っている方も居よう。ただこの削除の問題について言えば、中には一市民としての独自の不満を主張したようなものもあつたし、マスタープランを策定する目的とは掛け離れるものは当然除外されても致し方ないと思う。

また、ワークショップの中では、一回同意に達していながら蒸し返して他のメンバーの推進を翻弄させること等が起きているが、これが民主主義の良いところで時間を掛けながら納得したものとして型が出来たと思う。

一方、文章表現ではどうしてももめる。文章は個性が出るものであるから、自分流から見ると他人流は良くない。

豊かな感性のある表現をしようとする、他の文章とのバランスが崩れる。結局万人が納得する表現となると役所言葉表現で決着が付く。ただこの都市マス策定においては、都市計画課は事務局の立場にあってワークショップでの市民主張項目を多く取り入れて表現しようとしたと思われる。第5編の「実現に向けて」では、市民側は協議の場を核とした簡潔明瞭な表現を求めたが、その他の表現とのバランスもあって行政表現を市民側は容認した。

そして、都市計画マスタープランの協働による原案作成は最終局面に入るのだが、私は成果物としてこんなもので良い(良く纏まった)と思っている。

さて、とは言っても、気になることがある。市が及ばない(及んだかも知れない)行政の動向である。

つくばエクスプレスの開通に向けた周辺整備の状況である。区画整理事業の地権者との関係から、市や我々が及ぼす限界があることは理解するが、運動公園の元池と調整池予定地との間に南北の道路が出来つつある。その南側の傾斜林(古間木)の奥に約200年~300年以上の樹齢の檜(杉かもしれない)の大木(神社の神木と定められた杉の大木に相当する)が4本(根元囲り5.04m・3.94m・3.18m・3.30m)際立って存在する。森林の中なので多くの人はその存在を知らないだろうが、その3m強の大木3本の伐採が間近なのである。伐採のためのテープが巻かれ、今や死刑執行を待つ姿と化している。



南部地域：伐採を目の前にした江戸時代から生き続けた古間木の太木》

## 第25回運営委員会議事録

つくばエクスプレス鉄道敷地とは無縁の周辺道路整備のためのものと思われるが、道路予定図から見れば1本の大木のみ道路となるが、他の2本の大木は明らかに5～10mは外れている。にも関わらず伐採しなければならない理由が解らない。

ここ2年で思井や前平井・西平井の山林が伐採され千葉県庁は発掘調査で随所を掘り起こしている。この中にも樺などの大木はたくさんあった。しかし樺は100年も経てば大木となるので計画的緑地化で対処できるだろうとこれも一つの都市発展の課程の問題として我慢することにした。そして、原野森林を人工的に整備して新しい自然環境を作り替えることは、100年のサイクルから見れば人間と自然との調和のために必要かとも理解した(明治神宮の森・原宿の通りの成功例もある)。

しかし、200年以上にわたり立派に育つ大木は都会では稀である。また再生には200年以上を要する。この夏は、オリンピックの向上とは裏腹に、またまちづくり協議会に参加した動機とも照らして、どうしても曇りがちな気持ちがある。



《南部地域：道路設置のために伐採される斜面緑地》



《南部地域：  
道路の設置の先端が斜面緑地の伐採へと進む姿》

日時：平成16年8月22日 午後1時30分～4時00分  
場所：市役所3F 庁議室

出席者：伊勢、野口、成岡、俵本、福井、後藤、早川、嶋原、清水、魚住、浜、中川、福谷（事務局）石野、飯塚、渋谷、吉田、鷹見（順不同、敬称略）

議事：

### 1 地域別 WS 報告

北部 出席8名

第5編...運用に関する心配がまだある。

地域別懇談会...打ち合わせを5日に行う予定。

中部 出席10名

市民提案編...行政からのたたき台に手を加え修正案を考えている。

アクションプラン

原っぱプレーパーク...コミュニティプラザ北側市所有地の土地利用申請の準備中。理解者、支援者を増やすことが大切。

野良農園...農業従事者と市民では楽農、職農の点で考え方や取り組みに違いがある。農政課との話し合いや市民理解を深めながら進める。農園近辺の農家との意見交流は重要。

東部 出席14名+1名(オブザーバー)

市民提案編...行政からのたたき台に追加案を加えた修正案に、さらに+ で完成の予定。

地域別懇談会...9月26日懇談会終了後、引き続き東部公民館にて13:30? 15:30で個別の質疑応答やディスカッションを行う。行政からの案内とは別に、自治会+ヒアリングした議員に案内状を送付する。

アクションプラン...懇談会の会場でアクションプランのメンバーを勧誘する。

南部 出席14名

市民提案編...10月末までに行政案をもとに作成

地域別懇談会...全員出席の予定

アクションプラン...協議会解散後の組織「まちなみ会」設立総会の日程調整。地域別懇談会にて「まちなみ会」のメンバーを併せて募集する。

### 2 広報及び懇談会について

<広報について>

(運営委員)市民から意見は募集するけれども、回答は個別に行わないということを明記するのは行政の姿勢として問題ではないか。

(行政)全ての意見に正式な回答をするのは物理的に不可能で、中には質問のようなものもあり、対応に苦慮している。寄せられた意見をどのような傾向があるかなど分類し、最終案に向けた資料として使う予定。

## <地域別懇談会について>

(運営委員)各自治会への連絡はどのような形式で行うのか。

(行政)行政連絡員と自治会長宛に、郵送にて案内状を送付する。(8月30日発送)

(運営委員)通知の文書は堅苦しくなく、親しみの持てる内容にして頂きたい。

運営委員)懇談会の議事進行は行政主導だが、どのような内容になるのか。

(行政)教室スタイルだと思うが、車座なども考慮。個別質問も受けられるような雰囲気で行うつもり。

(運営委員)東部地域では、午前中は行政にお任せして、午後に東部地域メンバーが参加者と質疑応答やディスカッションを行う予定で、同時にまちあるきの成果展示やアクションプランのプレゼンテーションをし、メンバーを募ろうと思う。各自治会に挨拶回りをして、懇談会参加者を集めたい。

(行政)委員長、副委員長には全ての会場に参加して頂きたい。

### 3 市民提案編まとめの方向性について

10月末までに作成

行政案と方向性が同じなら、項目の追加は可能。

字体・書式は本編と同様のものに。

特に枚数制限などはせず、冒頭に市民提案編作成の挨拶を添えて編集する。

### 4 協働アクションプラン実施状況

北部

市民協議会解散後のアクションプランが、独立独歩でできるのか懸念している。流山市として、アクションプランについて何かしらのバックアップをしていただきたい。

中部

野良の夏祭りは100名ほどの参加者と和やかな雰囲気の中で楽しめた。原っぱプレーパークの計画は支援者集めと申請に向けて動いている。

東部

協議会の成果としてアクションプランに取り組んでいる。まだ準備段階で、具体的な活動はこれから。

南部

「まちなみ会」として、南部地域の活動継続をはかる。

### 5 資料編について

南部地域作成のものを参考に、スケジュール履歴を作る。各地域それぞれのアイデアを織りまぜながら作成し、経過を報告する。

11月末を目処に作成。

### 6 その他

次回WS 10/24までの課題

市民提案編

・アクションプランの実現

資料編

## ～地域別懇談会が開催されました～

協働素案の公表に伴い、北部、中部(9月12日(日))、東部、南部(9月27日(日))の各地域で地域別懇談会が開催されました。休日の開催でしたが、各会場とも30名を超える参加者がありました。



《地域別懇談会の様子その1》



《地域別懇談会の様子その2》

## 事務局だより

地域別懇談会も無事に終わることができ、ご協力ありがとうございました。各地域では、思いのほか出席者が多く、活発な質疑応答がなされました。地域の方々のPRが結果として表れたのだと思います。

いろいろ意見をいただきましたが、共通して言えることは、流山を少しでも住みやすいまちにしたいという思いを感じました。ということは、都市マスに対する期待感がかなり持たれていることからか……。都市マスの真価はこれからです。(イ)